

シェフの功績 思いはせ 松山 門田征吾氏のぶ会



門田征吾シェフの功績をしのぶ
参加者＝26日午後、松山市一番
町3丁目

2020年4月に79歳で
死去した「瀬戸内風仏蘭西
料理レストラン門田」（松
山市）のオーナーシェフ、
門田征吾氏をしのぶ会が26
日、ANAクラウンプラザ
ホテル松山（同市一番町3
丁目）であり、親交のあつ
た約100人が別れを惜し
んだ。全日本司厨士協会四
国地方本部の本田弘会長ら
が発起人となって開催。新
型コロナウイルス禍で延期
されていた。

門田氏は、1976年に
世界料理オリンピック（ド
イツ）で金メダルを獲得し
た。79年の松山全日空ホテ

ル開業を機に帰郷。洋食の
総料理長を務めた後、93年

に独立した。2010年、
全日本司厨士協会四国地
方本部長に就任。11年には
旭日双光章を受章してい
る。

会場には門田氏の調理道
具や数々の賞状、メダルが
並び、参加者は故人の功績
に思いをはせていた。
一緒に旅をした仲という
本田会長は「3年越しの開
催となったが、多くの人に
来てもらえて故人も喜んで
いることと思う」とあいさ
つした。（松本佑介）